

Topic01 熊本大学教職大学院説明会開催



7月15日に教職大学院説明会を開催しました。多くの皆様に対面・オンラインでご参加いただき、ありがとうございました。大学からの概要説明後、在学院生が作成したプレゼンや動画による教職大学院でのより具体的な学びについての説明、質疑応答が行われました。今回は、個別の質疑応答の時間に出された質問に回答していきます。

Q 特別支援教育コースと学校教育実践高度化コースで迷っています…

A 特別支援教育コースでは障害のある子どもに対する指導・支援について深く学んでいきます。一方、学校教育実践高度化コースでは障害のある子どもに限らず学校教育全体のことについて深めていきます。学びの重点を踏まえたくて、選択してください。



Q 試験対策(論述、面接)は、どんなことをしていましたか？

A 論述は、過去問で出題傾向をつかみ、学習指導要領や生徒指導提要、中教審の答申などを読みながら対策しました。面接は、出願時に提出した学修計画書をもとに、研究内容を具体的に説明できるよう準備しました。

Q 学校教育実践高度化コースは、どのようなテーマに取り組んでいますか。

A 地域や他校種との連携、校内研修の在り方、子どもの目指す姿に向けた教師の探求、道徳を中心とした学年の取り組みなど、多岐にわたります。また、養護教諭は保健室経営や保健に関する研究をしています。



教職大学院では、講義の中でグループ討議をする場面が多くあり、志の高い仲間と共に学び合うことができます。

また、専門教科や世代を超えて学び合えることも大きな魅力です。

Topic02 授業紹介

学級経営の実践と課題

この授業では、新しい時代の学校に求められる学級経営の力を身に付けるために、理論の学習と実践的なワークを組み合わせる学びを深めます。

実際に学級開きをする場面を想定して、保護者との対話や子どもたちに伝えるメッセージなどを発表する活動を行います。1年間のスタートをどのように始めるのか、経験豊富な現職の先生からもアドバイスをもらえるのが魅力的です！
(PI ストレートマスター山中敦博)

クラスや部活などの集団を「かや」に例え、居心地の良い集団のあり方を深く語り合う活動が印象的でした。正解が一つではないからこそ多様な視点に触れ集団についての視野が広がりました。(PI ストレートマスター佐藤羽哉斗)

自分のこれまでの学級経験を話し合ったり、現職教員から実際に学級経営を行う立場としてのお話を伺ったりすることで、多くの気付きや学びを得ています。経験と理論が結び付き、将来の学級経営につながる実践的な学びを実感しています！
(PI ストレートマスター野田智暉)

Topic03 研究紹介

「対話力を高める5ラインズ」を学んで

「5ラインズ」とは、子どもの対話力を5つの視点から捉え、実態を把握するためのアセスメントツールである。

印象深かったのは、「対話とは他者との出会いを通して自己が変容していくプロセスである」という考え方である。また、対話スキルだけでなく、「安心して発言できる関係性」や「対話への信頼」といった土台があってこそ質の高い対話が成立することも学んだ。

今後は、授業改善や学級経営の指標として活用し、生徒一人一人の対話スキルを継続的に見取り、安心して発言できる学級づくりや、根拠を基に考えを伝え合う活動を積み重ねることで、主体的で深い学びにつなげていきたい。さらに、教職員間でも共通の視点として活用し、組織的に子どもの対話力を育成できる学校づくりを目指したい。



P2 植嶋祐二郎